

# 「世界一大きな授業」2008 報告書



教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)

世界中の子どもに教育をキャンペーン実行委員会



「世界一大きな授業」に  
103の国と地域の子どもたち、750万人以上が参加！  
ギネス記録を大きく超えました！

世界中のすべての子どもたちが学校に通えるようになり、質の良い教育が受けられることをめざして、世界の NGO のネットワーク(Global Campaign for Education)が実施した「世界一大きな授業」。103の国と地域で750万人以上が参加したことが確認されました。ギネスブックへの登録には、まだ時間がかかりますが、現在のギネス記録200万人を大幅に超え、記録更新は確実となりました。以下、国内、海外で行われた「世界一大きな授業」を報告します。

## 参加した国と地域

＜アフリカ＞ アンゴラ、ウガンダ、エジプト、エチオピア、ガーナ、ガボン、カーボヴェルデ、カメルーン、ガンビア、ギニア、ケニア、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ザンビア、シエラレオネ、ジンバブエ、スーダン、セネガル、ソマリア、ソマリランド、タンザニア、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、マリ、マラウイ、南アフリカ、モザンビーク、モーリシャス、モロッコ、リベリア、ルワンダ、レソト

＜中東＞ アフガニスタン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン

＜ヨーロッパ・NIS 諸国＞ アルメニア、アイerland、アルバニア、イギリス、ウズベキスタン、オーストリア、オランダ、ギリシャ、グルジア、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポルトガル、マケドニア、ルーマニア

＜アジア＞ インド、インドネシア、カンボジア、スリランカ、タイ、台湾、日本、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、マレーシア

＜大洋州＞ ソロモン諸島、パプアニューギニア、バヌアツ

＜北米＞ アメリカ、カナダ

＜中南米＞ アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、チリ、ドミニカ共和国、ニカラグア、ハイチ、ブラジル、ベネズエラ、ボリビア、ホンジュラス、ペルー、メキシコ

# 「世界一大きな授業 2008」、日本から、世界からの報告

## 日本で

### ●小学生から大学生まで参加

日本では、4月23日(水)午後1時の「世界一大きな授業」でギネス記録に挑戦した学校は、北海道から沖縄まで30都道府県214校、25,838人に上りました。小学校、中学校を中心に高校、大学も参加しています。また、ギネスへの挑戦はできないけれど、途上国の子どもの教育について学ぼうということで、「教育キャンペーン週間」(4月21日～27日)に授業を実施した学校もあります。各地の授業の様子は、多数の新聞・テレビなどで報道されました。



埼玉県・さいたま市立泰平中学校



滋賀県・高島市立マキノ北小学校



青森県立むつ工業高等学校



東京都・文京区立本郷台中学校

### 世界一大きな授業の感想(千葉市立稲毛小学校4年生)

「子どもものにせんそうをしている子もいて、命をおとしてしまうこともあるのに、やらなきゃいけないなんてとってもかわいそうです」

「まだ小学生なのにけっこうしてはたらくというのもとってもかわいそうです」

「外で勉強するなんて考えてもみませんでした」

「小さい子が、大人にまじってはたらいているのをみて、てつだってあげたいなと思いました」

「わたしたちは、学校に行けておいしい給食が食べられるなんて幸せだなと思いました」

「ぼきんとかが、コンビニエンスストアやスーパーのレジにおいてある意味がわかりました」

「わたしはこれから紙やいろんな物をいっぱい使わないようにしたいです」

### ●高村外務大臣も政策演説で「世界一大きな授業」に敬意

洞爺湖の G8 サミットに関連して「万人のための教育ファスト・トラック・イニシアティブ」という世界の教育支援に取り組む会合が、4月下旬に東京で行われ、その出席者である世界銀行やユニセフのメンバーやガーナ教育大臣が都内の中学校で行った世界一大きな授業に参加しました。授業では、ユニセフ議連の衆議院議員やユニセフ大使の歌手のアグネス・チャンさんらも発表。また、高村外務大臣は4月23日の政策演説の冒頭で、「世界一大きな授業」に触れ、「成功に向け、努力された皆さんに心から敬意を表したいと思います」と述べました。

## 世界で

### ●子どもたちが先生役になって

世界で行われた中で最も参加者が多かったのはバングラデシュで、250 万人以上という驚くべき人数が参加しました。また、各国では、子どもや保護者、先生のほか、大臣や政治家も多く参加しています。先生役となった子どもたちが政治家に、途上国の子どもたちへの教育支援をどのようにしていくかを尋ねる場面もありました。カンボジアではシハモニー国王、アフガニスタンではマスード副大統領など多くの著名な人々が参加しています。



インドネシア



イギリス



ドイツ



モザンビーク

### ●教育の機会を奪われている 7,200 万人の子どもたち

世界では今なお 7,200 万人の子どもたちが教育の機会を奪われています。また、7 億 7,400 万人の大人が読み書きできません。世界のだれもが、読み書き計算をはじめとする必要な教育を受けられるために、世界の人々が力をあわせて政府に働きかけていくことが大切であり、有効な手立てであると、私たち、「世界一大きな授業」の日本での実行委員会を務めた NGO 各団体は考えます。

「世界中の子どもに教育をキャンペーン」では、世界の子どもたちが質の良い教育が受けられるように毎年 4 月、日本のみなさんに呼びかけ、子どもたちとともに様々な活動を行っています。例えば、2006 年は学校に行くことができない子どもの人形を思い思いにつくり、東京・青山の子どもの城で展示しました。2007 年は紙やインターネットで人間の鎖をつくり、麻生外務大臣(当時)に子どもたちが手渡しました。2009 年はまた新しい企画でみなさんに呼びかけます。これからもぜひご参加ください。

質の高い教育がめざしているのは、  
子どもたちが未来を変える力をつけること

みんなが行動することで、  
「世界一大きな授業」は  
世界を変える授業になる！

## 「世界一大きな授業 2008」は、この8団体が実行委員をつとめました。

これらの団体は、世界のさまざまな困難な環境にある子どもたちが、元気に学び、遊び、生きることができるよう、活動を続けています。また、国内では次のような活動をはじめ、多彩に機会を設け、みなさんの参加を呼びかけています。

団体	主な活動	募金	事務局 訪問受入	講師派遣	教材・ 資料貸出
 <b>(特活)ACE</b> 03-3835-7555 <a href="http://acejapan.org/">http://acejapan.org/</a>	サッカーボールやチョコレートなど身近なものから児童労働の問題とわたしたちとのつながりについて考え、子どもが笑顔でいられる社会を目指して活動しています。	●	●	●	●
 <b>(特活)オックスファム・ジャパン</b> 03-3834-1556 <a href="http://www.oxfam.jp/">http://www.oxfam.jp/</a>	オックスファムは世界100か国以上で、貧困から立ち上がる人々を支援し、貧困の根本的な解決を目指し活動する国際協力団体です。	●	▲(ご相談)	●	●
 <b>(社)シャンティ国際ボランティア会</b> 03-5360-1233 <a href="http://www.sva.or.jp/">http://www.sva.or.jp/</a>	図書館活動、教員研修、教材開発、学校建設、職業訓練、幼児教育、学校外の青少年教育をアフガニスタン、ミャンマー難民キャンプ、カンボジア、ラオス、タイで支援しています。	●	●(有料)	●(有料)	●
 <b>(社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン</b> 03-3516-8932 <a href="http://www.savechildren.or.jp/">http://www.savechildren.or.jp/</a>	子どもの権利の実現を目指し、世界120か国以上で子どものための支援活動を展開しています。国内では、日本の子どものための教育事業“Speaking Out～みんなと一緒になそう～”を実施しています。	●	●	●	●
 <b>(財)日本フォスター・プラン協会 (プラン・ジャパン)</b> 03-5481-3511 <a href="http://www.plan-japan.org/">http://www.plan-japan.org/</a>	途上国49か国の子どもたちとともに地域開発を進める国際NGO。子ども向けウェブサイト、講師派遣(無料)など、国内の開発教育にも積極的に取り組んでいます。	●	●	●	●
 <b>(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン</b> 03-3835-0221 <a href="http://www.ftcj.com/">http://www.ftcj.com/</a>	子どもが主体的に活動することを大切にしています。つまり、「子どもが子どもを支援する」国際協力を合言葉に活動しています。	●	●	●	●
 <b>(特活)ラオスの子ども</b> 03-3755-1603 <a href="http://deknoyao.org">http://deknoyao.org</a>	ラオスの人々による絵本、紙芝居などの作品作りを応援し、小学校などに届けています。日本では、日本の絵本にラオス語を貼るボランティア活動に多くの人が参加しています。	●	●	●	●

後援： 文部科学省、外務省、JICA、開発教育協会、(財)日本ユニセフ協会、ユニセフ議員連盟

賛同団体： アフリカ地域開発市民の会(CanDo)、ワールド・ビジョン・ジャパン



教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)

世界中の子どもに教育をキャンペーン実行委員会

[www.jnne.org/gce2008](http://www.jnne.org/gce2008)

事務局： 〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

(社)シャンティ国際ボランティア会内

tel 03-5360-1233 fax 03-5360-1220